



村田 行

2019年も6月に入り折り返し地点となりました。イリオモテヤマネコも繁殖、子育てのシーズンになり、各地で親子ネコの路上出沒も確認されていますが、今のところイリオモテヤマネコの交通事故は0件になっています(2019年6月10日現在)。交通事故が多発した翌年は比較的、事故件数が少なくなる傾向があるので楽観はできませんが、まずは嬉しいお知らせです。また、世界自然遺産リスト記載登録に伴うオーバーツーリズム対策についても、ガイドの登録制導入を目指す「竹富町観光案内人条例(仮)」の検討会が5月18日に開催されるなど、少しずつですが前進しています。

しかし、同時に検討するとされていた「イリオモテヤマネコ交通事故防止対策条例(仮)」とフィールド毎の人数制限を定める「西表島特定自然観光資源保護条例(仮)」についての議論はまだ始まっていません。西表島は2020年度夏には世界自然遺産リストへ記載登録されると予想されていることから、一刻も早く議論を始め、これらオーバーツーリズム対策を進める必要があります。

# やまねこのいるくらし授業

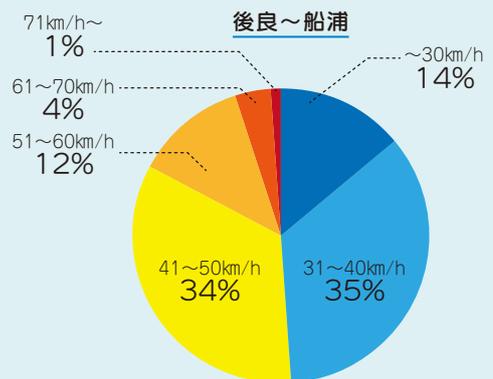
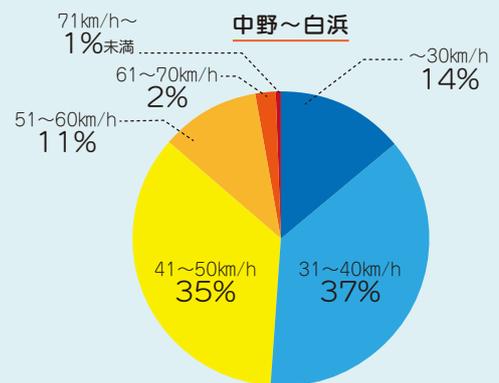
恒例となっている上原小学校4年生のヤマネコのいるくらし授業。今年も11月21日から総合の学習の時間を使い、野生生物保護センター見学、フン分析、自動撮影カメラの設置や夜間パトロール体験などを行いました。2月2日の学習発表会では、これまで学習したヤマネコの特徴やロードキルが多発している現状について発表したほか、生徒たちが作成したロードキル防止を呼び掛けるチラシと看板を披露しました。作成したチラシは2月14日に上原港で配布したほか「やまねこレンタカー」で利用者に配布して頂いています。看板については、生徒たちと相談の上、3月15日に上原地区の事故多発地点3か所に設置してあります。西表島にお越しの際には、是非探してみてください。



# 夜間パトロール

\*この活動は、Us 4 IRIOMOTE助成プログラムの助成を得て行っています。

2018年の夜間パトロールは合計で118回実施しました(2018年3月～2019年4月)。2017年までは古見～船浦間での実施でしたが、近年は船浦より西の地域で事故が多発傾向にあることから、2018年5月より中野～白浜間のパトロールも開始しました。中野～白浜間のパトロールはまだ回数が少なく実施できない月(6月)もありましたが、交通量が非常に多いことが分かりました。速度については、後良～船浦、中野～白浜間で大きな差はありませんでしたが、約半数が速度超過という状況からも、交通量が多い中野～白浜間で事故が発生する確率はやはり高いと言えます。今年は2019年6月10日現在、イリオモテヤマネコの交通事故はゼロです。今年こそ年間事故ゼロを目指し引き続きパトロールを実施していきますが、今後も安定的なパトロールを実施してゆくために、パトロール体制のさらなる強化を予定しています。



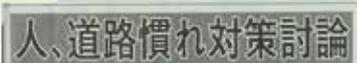
## 「これからのヤマネコ保護にもとめられること」

\*この活動は、Us 4 IRIOMOTE助成プログラムの助成を得て行っています。

毎年開催しているイリオモテヤマネコの日記念シンポジウム。今年は「これからのヤマネコ保護にもとめられること」のテーマで、島の東西両地区で開催しました（14日大原地区離島振興総合センター、15日上原地区中野わいわいホール）。シンポジウムは、長年イリオモテヤマネコの研究と保護に携わってこられた琉球大学の伊澤雅子教授による基調講演、やまねこパトロールによる交通調査の発表、パネルディスカッションの構成で開催し、これまでおこなわれてきた様々な交通事故防止対策を振り返りながら、これからのヤマネコ保護について求められることについて討論しました。パネリストは八重山地区交通安全協会 西表島東部支部長 玉盛雅治氏（14日）、八重山地区交通安全協会 西表島西部支部長 三盛克美氏（15日）、環境省西表保護官事務所 自然保護官 竹中康進氏、竹富町政策推進課 課長補佐 仲盛敦氏、JTJEF西表島支部やまねこパトロール 高山雄介事務局長。



伊澤雅子教授からはアンダーパスや路上侵入抑制策の取り組みを紹介した上で、近年は人馴の傾向もみられ島内どこでヤマネコが飛び出してもおかしくないと説明。ドライバーが常にヤマネコを意識して安全運転することが大切であると意見されました。竹富町政策推進課からは、現在検討されているイリオモテヤマネコ交通事故防止対策条例の紹介があり、ヤマネコの人馴れを助長する行為の規制▽自動車の運行を伴う事業の適正化▽関係機関で連携した交通事故防止対策が検討されていると説明されました。シンポジウムの様子は4月16日付の八重山毎日新聞紙面トップで報道されました。



## 浦内橋の橋梁架け替え工事

3月24日の八重山毎日新聞で浦内橋の架け替えが報じられました。浦内川は、仲間川と共に西表島の2大河川となっており、生息する魚種は400種以上と日本一の魚種を誇ります（位置は、全頁の地図を参照。）架け替えは▽迂回（うかい）路用に仮設橋を設置（3年）▽既設の橋を解体（3年）▽同じ場所に橋の新設工事（5年）▽仮設橋の撤去の旬で行われるとされ、仮設橋の一部で盛り土が行われること、資材搬入が主に白浜港から行われる計画になっています。

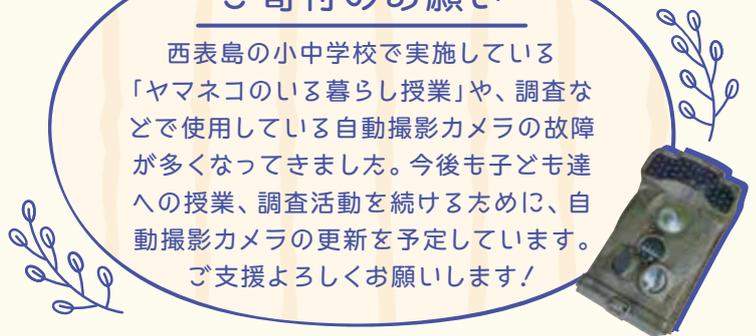


今回工事が予定されている浦内橋周辺は国立公園の第二種特別地域、世界自然遺産リスト記載登録推薦書では緩衝地域に指定されるなど、多数の希少種を産する貴重な湿地環境が残されています。

やまねこパトロールは工事が行われる場所の重要性和その工期の長さから、イリオモテヤマネコや周辺環境、住民生活に与える影響が大きいと判断し、自然環境に配慮した工法の検討や工事請負業者の安全運轉義務付け、住民説明会の開催を求める提言を八重山土木事務所に提出しました。提言の全文はHPからダウンロードできます。

### ご寄付のお願い

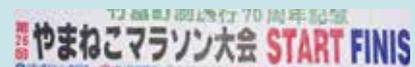
西表島の小中学校で実施している「ヤマネコのいる暮らし授業」や、調査などで使用している自動撮影カメラの故障が多くなってきました。今後子ども達への授業、調査活動を続けるために、自動撮影カメラの更新を予定しています。ご支援よろしくお願ひします！



### やまねこマラソン

\*この活動は、Us 4 IRIOMOTE助成プログラムの助成を得て行っています。

毎年恒例となっているヤマネコマラソン。今年もチームやまねこパトロールで出走しました。





トラ・ゾウ保護基金  
お薦めの本



ナショナルジオグラフィック キッズ  
**ミッション・ゾウ・レスキュー**  
(ハーパーコリンズ・ジャパン)  
5月新刊

アフリカゾウもアジアゾウも、たくさんの生きものたちと大自然を分かちあっている。ゾウを絶滅させてはならない！ゾウを守ることは、地球を守ることなのだから。トラ・ゾウ保護基金も制作に協力し、その活動も紹介されています。

著者：アシュリー・ブラウン・ブリュエット  
日本版企画監修：田中直樹(ココリコ)  
定価：本体1,600円(税別)

ナショナルジオグラフィック キッズ  
**ミッション・トラ・レスキュー**  
(ハーパーコリンズ・ジャパン)  
3月新刊

トラを知らない人はいない。でも、野生にはたった4000頭しかいないって知っていた？人間による密猟や、森林伐採が原因だ。絶滅したら、なにが起きる？どうすれば絶滅を防げる？トラ・ゾウ保護基金も制作に協力し、その活動も紹介されています。

著者：キットソン ジャジンカ  
日本版企画監修：田中直樹(ココリコ)  
定価：本体1,600円(税別)

**牙**：アフリカゾウの「密猟組織」を追って  
(小学館) 5月新刊

元アフリカ特派員の筆者は、密猟で動くカネが過激派テロリストの資金源になっている実態に迫り、背後に蠢く中国の巨大な影を見つける。

そして問題は、象牙の印鑑を重宝する私たち日本人へと繋がっていく。選考委員満場一致の第25回「小学館ノンフィクション大賞」受賞作。

2016年南アフリカで開催されたワシントン条約会議の取材には、トラ・ゾウ保護基金が協力。本作の中にも登場。

著者：三浦英之  
定価：本体1,600円(税別)

イベント 2019  
INFORMATION

JTEFのウェブサイト  
リニューアルしました！

情報充実+スマホ対応  
+オンラインでのご寄附も便利に。  
[www.jtef.jp](http://www.jtef.jp) または「トラゾウ」で検索

JTEFの活動を  
ご支援ください！

JTEFの活動は、皆さまからのご寄附で支えられています。野生動物と私たちの豊かな自然環境を守るために、ぜひ私たちの活動をご支援ください。

年間サポーター費・随時寄附の  
★お支払方法★

JTEFのウェブサイトからクレジットカードで簡単に寄附いただけます。  
[www.jtef.jp](http://www.jtef.jp) または「トラゾウ」で検索

郵便振替でもご寄附いただけます。

ゆうちょ銀行

口座番号：00170-7-355897

加入者名：トラ・ゾウ保護基金

JTEFを支えるチャリティパーティー

7月6日(土) 18:00～20:00 (17:30開場)

場所：ピヤステーション恵比寿

主催：JTEFの活動を支えるチャリティー実行委員会

「世界トラの日」イベント

7月28日(日)

場所：上野動物園

JTEFトラ保護応援グッズの販売など。

\*時間は未定ですが、日中の実施となります。猛暑日になりそうな場合は、来場者の安全確保のために中止になることがあります。

「世界ゾウの日」イベント

8月12日(休日の月)

場所：上野動物園

JTEFスタッフと上野動物園ゾウ飼育担当者とのゾウ保護トーク、JTEFゾウ保護応援グッズの販売など。

\*時間は未定ですが、グッズ販売は午後5時頃にはスタート、トークは6時30分頃の開催となります。

ナマステ インディ2019

9月28日(土)・29日(日)

場所：代々木公園B地区

JTEF保護活動パネルの展示、保護応援グッズの販売など。

ディワリ・イン・ヨコハマ  
2019

10月の土日2日間(日程は未定)

場所：山下公園

JTEF保護活動パネルの展示、保護応援グッズの販売など。



去年の様子



認定NPO法人

トラ・ゾウ保護基金

<http://www.jtef.jp/>

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-5-4 末広ビル3F  
Tel: 03-3595-8088 Fax: 03-3595-8090  
E-mail: [hogokikin@jtef.jp](mailto:hogokikin@jtef.jp) <http://www.jtef.jp>  
郵便振替口座：ゆうちょ銀行 口座番号)00170-7-355897  
加入者名) トラ・ゾウ保護基金

イリオモテヤマネコ保護基金通信 vol.19  
発行日：2019年6月28日  
発行人：戸川久美  
編集：高山雄介  
デザイン：土肥優子